



— 目 次 —





1. 準備するもの.....	1
2. ECOンビ工法の概要.....	3
3. 施工手順.....	4



〒769-1614 香川県観音寺市大野原町萩原 2649
本 社 TEL:(0875)54-5611 FAX:(0875)54-5614
営業部 TEL:(0875)54-5612 FAX:(0875)54-5614

1. 準備するもの

	項 目	備 考
1	ECO ンビ一次蓋 	(株)カンケンにて用意 ✓一次蓋は軽量化のために最大限薄く細くしているため、取り扱いには十分に注意してください。 ✓納入時には製品のチェック(クラック、欠けなど)を行ってください。
2	ECO ンビ二次蓋 	(株)カンケンにて用意
3	漏れ止め金具(支保工)  旧型 新型	(株)カンケンにて用意 ✓旧型の場合はターンバックルも余分に用意してください。
4	高さ調整定規(支保工高さ調整用) 	(株)カンケンにて用意
5	ハイジャスター 	(株)カンケンにて用意 25kg/袋 p3 の注意点を必ずお読みください。 ✓夏場は必要に応じて遅延剤も用意
6	漏れ止めパッキン  漏れ止め金具上部、下部に パッキンを取り付ける	(株)カンケンにて用意 ✓漏れ止め金具上部、下部に取り付ける。 ✓漏れ止め金具へ漏れ止めパッキンを貼る際には、事前にその箇所へ養生テープ等を貼っておきます。(パッキンの粘着力が非常に強く、直接貼った場合は使用後に剥がしにくくなるため)
7	ビニールテープ	施工業者にて用意
8	養生テープ	施工業者にて用意
9	計量カップ	施工業者にて用意
10	漏斗(ろうと)・ちりとり など	施工業者にて用意 ✓ハイジャスターの充填に使用します。

項目	備考
11 二次蓋用吊具 	(株)カンケンにて用意
12 攪拌機(電動ミキサー)	施工業者にて用意 ✓アルミ材の羽は使用しないでください。
13 バケツ 	施工業者にて用意
14 水	施工業者にて用意 ✓夏場はハイジャスターの流動性、作業性向上のために氷も用意してください。
15 切板(端部止め用) 	施工業者にて用意
16 コーキング(端部止め用)	施工業者にて用意
17 ひしゃく	施工業者にて用意 (必要に応じて)
18 台車	施工業者にて用意 (必要に応じて) (攪拌場所から施工場所までの移動用)
19 角材(支保用) 	施工業者にて用意 (必要に応じて) ✓旧型の漏れ止め金具を使用する場合のみ。 (新型の漏れ止め金具では必要ありません)
20 サンダー	施工業者にて用意 (必要に応じて) (一次蓋の凸部のカットが必要な場合)
21 コテ	施工業者にて用意 (必要に応じて)
22 高圧洗浄機	施工業者にて用意 (必要に応じて) (距離が長い場合には有効)
23 ラチェットレンチ(24mm)	施工業者にて用意

2. ECOンビ工法の概要

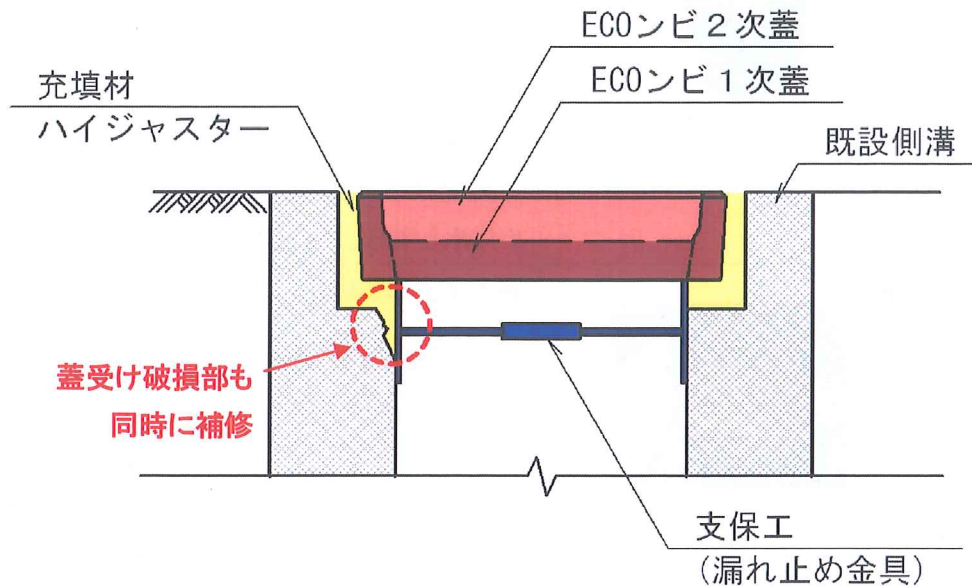
「ECOンビ工法」とは、既設の側溝本体を壊さずに、老朽化した蓋のみを ECO ンビ蓋と交換することによって、側溝の修繕を行う工法です。

一次蓋を充填剤により固定すると同時に、側溝本体の破損部も補修でき、即日開放が可能です。また、一次蓋は固定されますが、軽量化された二次蓋は人力により着脱可能なため、施工後の維持管理も容易に行えます。

施工については、側溝本体のハツリやカット等を行う必要がなく、人力での施工が可能です。

ECOンビ工法 概要図

※実際の色とは異なります。



※既設側溝と1次蓋との隙間は、充填作業性を考慮して、最低 10mm 以上は確保してください。

充填材（ハイジャスター）についての注意点

- ・ 充填材は非常に流動性が高いため、隙間はしっかりと塞ぎ、漏れには十分に注意してください。また、端部や支保工同士の継ぎ目も忘れずに塞いでください。
- ・ 充填材は硬化が非常に早いため、小分けに施工することをお勧めします。特に気温の高い日は注意が必要です。また、充填の際も7～8割の高さまで一気に流し込んでください。
- ・ 充填材を生成する際には、必ず計量後の水にハイジャスターを投入してください。また、攪拌しながらハイジャスターを投入してください。
- ・ 水量は規定量を厳守し、十分に練り混ぜてください。硬化不良の原因となります。
- ・ 練り混ぜにはポリバケツを使用し、オイル缶などは避けてください。付着しているオイルと化学反応を起こし、硬化不良の原因となります。
- ・ 手練りは避け、電動ミキサー等を使用してください。また、アルミ材の羽は使用しないでください。
- ・ 気温の高い夏場は、練り混ぜ中に硬化が始まる場合がありますので、ハイジャスターや水は使用直前まで冷暗所等に保管し、できるだけ冷水を使用するなど十分に注意してください。

3. 施工手順

	手 順	内 容
1		<p>施工前</p>
2		<p>既存蓋を撤去する 蓋受けの清掃を行う</p> <p>✓ 蓋受けの清掃は、充填材と既設側溝の一体化を図るうえで、非常に重要な作業となります。できれば高圧洗浄で行うことをお勧めします。</p>
3		<p>高さ調整定規を用いて漏れ止め金具を設置する</p> <p>✓ 旧型の漏れ止め金具を使用する場合には、ターンバックルの回転方向を合わせてください。</p> <p>✓ 高さ調整定規を上から押さえつけ、漏れ止め金具を上を引き上げることで正確な高さに施工ができます。</p>
4		<p>漏れ止め金具の設置完了(支保工)</p>

手 順	内 容
<p>5</p> 	<p>一次蓋を据え付ける</p> <p>✓既設側溝と一次蓋との隙間は、充填作業性を考慮して、最低 10mm 以上は確保してください。</p> <p>【カーブ施工の場合】</p> <p>✓1.5m製品も組み合わせてRに対応します。</p> <p>✓既設側溝の蓋受けに対して一次蓋の掛かりを確保して下さい。</p>
<p>6</p> 	<p>【カーブ施工の場合】</p> <p>R部分の一次蓋の開き箇所に型枠を設置する</p>
<p>7</p> 	<p>漏れ止め金具と一次蓋の継ぎ目にガムテープを貼り付ける (充填材の漏れ止めのため)</p> <p>✓縦方向の継目も忘れずに。</p>
<p>8</p> 	<p>端部の隙間にコーキング材を注入する (充填材の漏れ止めのため)</p> <p>✓必要に応じて切板により固定する。</p>

手 順

内 容

9



一次蓋へ養生テープを貼り付ける
(一次蓋へのハイジャスターの付着防止)

10



一次蓋の真ん中へ二次蓋を1枚仮掛けする。
 ✓二次蓋がきつくて入りづらい場合は、軽く押さえると所定の位置に収まります。
 ✓ハイジャスターが硬化するまでは、絶対に仮蓋の上には乗らないで下さい。

11



ハイジャスターを水と攪拌し、充填材を生成する





※ハイジャスター1袋あたりの水量

温度	5℃	20℃	30℃
水量	4.50ℓ	4.38ℓ	4.38ℓ
練上り量	13.30ℓ	13.18ℓ	13.18ℓ

12



充填材を既存蓋と一次蓋の隙間に充填する
 ✓必要に応じて、表面を素早くコテ均ししてください。
 ✓硬化が早い場合は、二層に分けて充填してください。(最初は7～8分目まで充填)

	手 順	内 容
13		<p>【カーブ施工の場合】 R部分の一次蓋の開き箇所にも充填材もしくはモルタルを充填する</p>
14		<p>充填材の硬化を確認後、養生テープをはがす ✓ 充填材は注入後約 1.5～2 時間で硬化します。</p>
15		<p>漏れ止め金具を取り外す</p>
16		<p>二次蓋を据え付け、施工完了 ✓ 二次蓋の開閉には専用の吊具を使用してください。 ✓ 蓋受けがR形状のため、二次蓋を据え付け後、二次蓋にガタツキ等がないか確認をしてください。</p>